



第7回

埼玉農業大賞表彰式

と き：平成28年11月20日(日)
と ころ：越谷市 しらこぼと水上公園

Saitama Agricultural Awards



越谷のねぎ

— 埼玉県 —



目 次

1	埼玉農業大賞について	1
2	選考経過報告	2
3	埼玉農業大賞受賞者	3
4	埼玉農業大賞 農業ベンチャー部門受賞者紹介	4
	株式会社一心園	5
	株式会社苺の里	6
	有限会社神扇農業機械化センター	7
5	埼玉農業大賞 地域貢献部門受賞者紹介	8
	竹井好行・君江	9
	川島町いちじく生産組合	10
	越谷いちご団地生産組合	11
	ひびきの農産株式会社	12



本日、第7回埼玉農業大賞を受賞されました皆様に心からお祝いを申し上げます。

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営に取り組み、埼玉農業の振興や地域活性化に貢献された方々の功績を称えるとともに、そのビジネスモデルを広く発信し、本県農業を持続的に発展させていくことを目的にしています。

受賞者の皆様の農業経営に対する並々ならぬ熱意とたゆまぬ努力に対し、深く敬意を表します。

農業の発展には「労働」、「資本」、「技術」の3つが重要と言われています。本県の農業は、優れた担い手、肥沃な農地、先進的な技術の3つの要件を備えています。

さらに、約4,300万人の消費者を擁する首都圏に位置し、ヒトとモノが容易に移動できる交通の要衝であり、多数の食品関連企業が立地するという大きな強みを持っています。

こうした条件を生かして、農業産出額が全国第5位の花き、第6位の野菜をはじめ、米、麦、果実、畜産など多彩な農畜産物が生産されています。近年では、これらの農畜産物を自らが加工・販売する農業の6次産業化の取組が盛んに行われています。また、埼玉での農業経営を志す新規就農者や農業参入企業も年々、増加しています。

2019年にはラグビーワールドカップ2019日本大会が、2020年には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が本県でも開催されます。会場を飾る花をはじめ、宿泊施設への県産農産物の供給など、新たな需要の拡大が期待されます。

私は今後とも、埼玉農業が成長産業として発展するよう、全力で取り組んでまいります。

このたび受賞されました皆様には、優れた技術や経営能力を存分に発揮していただき、引き続き埼玉農業の発展に格別のお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年11月20日

埼玉県知事 上田清司

1 埼玉農業大賞について

(1) 趣旨

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営や地域農業の振興に優れた功績を上げている農業者に、知事の表彰状を贈り、その成果を称え広く紹介することによって、本県農業の持続的な発展に資するものです。

(2) 表彰

賞の対象は、県内で意欲的に農業を営む個人・法人又は団体とし、埼玉農業大賞に、農業ベンチャー部門および地域貢献部門を設けています。

表彰は、農業ベンチャー部門および地域貢献部門で、最も優秀な者それぞれ1点以内を大賞とし、また、大賞に次ぐ優秀な者それぞれ3点以内を優秀賞として賞します。

(3) 主催

埼玉県

(4) 後援

埼玉県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会埼玉県本部
埼玉県信用農業協同組合連合会、埼玉県農業共済組合連合会
一般社団法人埼玉県農業会議、公益社団法人埼玉県農林公社
一般社団法人埼玉県畜産会

(5) 特別協賛

J Aグループさいたま
株式会社協同商事コエドブルワリー、株式会社ひびき
弓削多醤油株式会社、お菓子な郷推進協議会

2 選考経過報告

(1) 募集

農林振興センター、市町村等の長に対し、平成28年5月20日（金）から平成28年6月30日（木）までの間、埼玉農業大賞の募集を実施した結果、農業ベンチャー部門4点、地域貢献部門7点の推薦がありました。

(2) 選考

埼玉農業大賞表彰要綱第5条第2項の規定に基づき、埼玉農業大賞選考委員会を組織し、次のとおり選考委員会を開催しました。

ア 埼玉農業大賞選考委員会幹事会の開催

平成28年10月12日（水）、埼玉教育会館301会議室において、埼玉農業大賞選考委員会幹事会を開催し、予備選考を実施しました。

イ 埼玉農業大賞選考委員会の開催

平成28年10月17日（月）、埼玉教育会館303会議室において、埼玉農業大賞選考委員会を開催し、農業ベンチャー部門・地域貢献部門で大賞及び優秀賞の選考を実施しました。

埼玉農業大賞選考委員会委員

役職	氏名	役職
委員長	井上 清	一般社団法人全国農業改良普及支援協会顧問
副委員長	永島 朗	埼玉県農業協同組合中央会常務理事
委員	江口 幸治	埼玉大学大学院人文社会科学研究科准教授
委員	近藤美恵子	中小企業診断士
委員	栗田美和子	(株)クリタエイムデリカ代表取締役社長

(3) 選考結果

推薦されました事例はいずれも革新的な農業経営に取り組み、また、地域農業の振興や活性化に優れた活動を行うものであり、選考は難航しました。

選考の結果、埼玉農業大賞農業ベンチャー部門の大賞として1法人、優秀賞として2法人、地域貢献部門の大賞として1個人、優秀賞として2団体と1法人を第7回埼玉農業大賞受賞者といたしました。

3 埼玉農業大賞受賞者

(1) 農業ベンチャー部門

敬称略

区 分	受 賞 者 名
大 賞	<small>かぶしきがいしゃいっしんえん</small> 株式会社一心園 (深谷市)
優 秀 賞	<small>かぶしきがいしゃいちご さと</small> 株式会社苺の里 (毛呂山町)
	<small>ゆうげんがいしゃかみおうぎのうぎょう き かい か</small> 有限会社神扇農業機械化センター (幸手市)

(2) 地域貢献部門

敬称略

区 分	受 賞 者 名
大 賞	<small>たけい よしゆき きみえ</small> 竹井 好行・君江 (行田市)
優 秀 賞	<small>かわじままち せいざんくみあい</small> 川島町いちじく生産組合 (川島町)
	<small>こしがや だんち せいざんくみあい</small> 越谷いちご団地生産組合 (越谷市)
	<small>のうざんかぶしきがいしゃ</small> ひびきの農産株式会社 (本庄市)

4 埼玉農業大賞 農業ベンチャー部門 受賞者紹介

農業ベンチャー部門 大賞

かぶしきがいしゃいっしんえん
株式会社一心園

1 経営概要

- (1) 所在地 深谷市針ヶ谷
- (2) 代表者名 代表取締役 ^{やまざき}山崎 ^{もとじ}素治
- (3) 経営内容 ブロッコリー7ha、レタス6ha、スイートコーン4ha
なす0.7ha 等

2 受賞理由

- (1) 「社員が夢を持てる経営」を理念に雇用労力の活用と農地の集積により、大規模露地野菜経営を実践
- (2) レタスやブロッコリー、スイートコーンなど10品目を組み合わせることで、年間を通し作業時間が平準化した栽培体系を確立
- (3) 法人化や丁寧な農作業等が地域で評価され、毎年規模を拡大



株式会社一心園の皆さん
(右から1番目が代表取締役の山崎素治氏)



農作業を行う山崎素治氏

農業ベンチャー部門 優秀賞

かぶしきがいしゃいちご さと
株式会社苺の里

1 経営概要

- (1) 所在地 毛呂山町下川原
- (2) 代表者 代表取締役 ^{たなか ひでや} 田中 英也
- (3) 経営内容 いちご55a、加工・販売所1棟

2 受賞理由

- (1) 平成19年、遊休農地を活用して農業へ新規参入し、高設水耕いちご園を開園
- (2) 来園者のニーズを捉え、園内が清潔であること、子供が喜ぶこと、お得感が実感できるサービスを取り入れた経営を実践
- (3) 平成24年、ハウスを増設するなど生産の拡大に伴い、経営を法人化



株式会社苺の里の皆さん
(前列右から2番目が代表取締役の田中英也氏)



苺の里オリジナル商品
いちごロールケーキといちご大福

ゆうげんがいしゃかみおうぎのうぎょう き かい か
有限会社神扇農業機械化センター

1 経営概要

- (1) 所在地 幸手市神扇
- (2) 代表者名 代表取締役 ふなかわ よしたか 船川 由孝
- (3) 経営内容 水稲65ha

2 受賞理由

- (1) 水田の大区画化や、GPSを搭載した大型機械を整備し、省力かつ低コストな稲作経営を実現
- (2) 当法人が受け持つほ場数は200にも及ぶが、全てのほ場の作業時間、収量等を記帳し、農作業の最適化や農業機械の効率化を実践
- (3) 地域で遊休化しそうな水田を積極的に借り受けるとともに、自ら農道や用排水路の除草を行うなど、地域の農村環境の維持に貢献



有限会社神扇農業機械化センターの皆さん
(中央が代表取締役の船川由孝氏)



GPSを搭載したトラクタ
(水田の代かき風景)

5 埼玉農業大賞 地域貢献部門 受賞者紹介

地域貢献部門 大賞

たけい よしゆき きみえ
竹井 好行・君江

1 経営概要

- (1) 住 所 行田市埼玉
(2) 代表者 たけい よしゆき
竹井 好行

2 受賞理由

- (1) 新規就農者にとっての課題である農地確保から販路までの支援を行い、今まで12人の研修生を受け入れ、うち7人の新規就農を実現
- (2) 研修生の潜在的な能力を見極め、主体性を持たせた営農実践に近い研修を実施
- (3) 研修終了後は、継続して農地やハウスを利用させるとともに、収穫物は竹井氏の販路を活用して販売させ、安定した収入を確保



竹井好行・君江氏



就農した元研修生による集荷風景

かわじままち せいさんくみあい
川島町いちじく生産組合

1 経営概要

- (1) 所在地 川島町下八ッ林
- (2) 代表者名 組合長 木村 悟きむら さとる
- (3) 構成員 28人

2 受賞理由

- (1) 新たな町の特産物であるいちじくの栽培を通し、定年後の収入確保や生きがい対策、遊休農地解消などを実施
- (2) 組合員の所得向上と豊かな暮らしの実現を目標に、栽培技術の研鑽を行い、消費者に高品質で安全安心ないちじくを提供



川島町いちじく生産組合の皆さん



いちじくの出荷物の目揃い会

こしがや だんちせいさんくみあい
越谷いちご団地生産組合

1 経営概要

- (1) 所在地 越谷市小曾川
- (2) 代表者名 組合長 おぎしま 荻島 もとじ 元治
- (3) 構成員 4者

2 受賞理由

- (1) 集客には、SNSの活用により市内のいちご観光農園と情報を共有し、各園の集客状況を把握して来園者の誘導・案内を実施
- (2) 市内の洋菓子店や県内の菓子製造会社と連携し、いちごを使用した菓子を販売するなど、農商工連携を実施



越谷いちご団地生産組合の皆さん
(2列目左から4番目が組合長の荻島元治氏)



いちご園内

のうさんかぶしきがいしゃ
ひびきの農産株式会社

1 経営概要

- (1) 所在地 本庄市早稲田の杜
- (2) 代表者名 代表取締役社長 きむら たもつ 木村 保
- (3) 構成員 308人

2 受賞理由

- (1) 農家及びJA埼玉ひびきのが出資する法人で、構成員308人、経営耕地面積約642haで麦を栽培（地域の麦作付面積の76%を占める）
- (2) 法人の活動により地域の麦生産を維持することができ、地域の農業振興に大きく貢献



ひびきの農産株式会社の役員の方々
(右から2番目が代表取締役社長の木村保氏)
(左端が初代表取締役社長(現監査役)の金井武司氏)



小麦の収穫

COEDO
www.coedobrewery.com

Beer Beautiful



ビールの世界最大コンクールでW受賞
ヨーロッパピASTER-2010ゴールドメダル、ワールドピアカップ2010シルバメダル受賞



地元食材のご提案をお待ちしております。



やきトン
しゃぶしゃぶ
彩の地酒

小江戸川越・埼玉
アンテナダイニング
黒豚劇場

有楽町
黒豚劇場
東京国際フォーラム店

☎ 03-3213-1533
千代田区丸の内3丁目5番1
東京国際フォーラムB1
ランチ/11:30 ~ 15:00
ディナー/17:00 ~ 23:00(L.O.22:00)

黒豚劇場
ひびき川越店

☎ 049-226-8899

埼玉県川越市脇田町17-4
ファミリーマート2F
J. 川越線川越駅 東口 徒歩3分
17:00 ~ 24:00(L.O.23:00)
定休日 不定休

HIBIKI FOOD SERVICE GROUP ☎ 0120-22-9646

埼玉県産大豆・小麦使用
ふるさと認証食品

弓削多醬油株式会社

醤油王国 日本市田坂目804番地1
☎ 0120-417-059
本社 坂戸市多和田475番地
☎ 0120-87-0811

彩の国 醤油王国 工場見学受付中!

http://www.yugeta.com

幻の芋、復活。
地産地消の菓子づくり

太白芋のお菓子
発売中!

秩父カエデ糖
モンドセレクション受賞
秩父カエデ糖 使用のお菓子
発売中

秩父の恵み カエデ糖

すずぽろ 太白さつまいも菓子になる

国産メープルシロップの郷づくり

森を育て、お菓子を つくる。

お菓子な郷推進協議会

〒368-0042 埼玉県秩父市東町13-7 [中村屋内] ☎0494-22-0838 ☎0494-22-9289



人の数だけ「よい食」があるんだね。



新鮮でおいしいから、
地元の野菜、
食べてます。



市民農園で、農業体験。
育てる楽しみを知りました！



ダイエット中でも、
三食ちゃんと
食べてるよ。



自分でつくった
お弁当を食べて、
栄養バランスばっちり！



何は無くとも
やっぱりごはん。
日本人だからね。

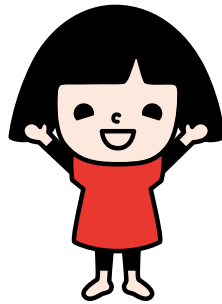
一年生のときから
給食のこさず、
食べてるよ。



田舎のおばあちゃんが
送ってくれる野菜、
とってもおいしいよ！



「よい食」 たいへん できました



旬の食材を
食べて健康！

日曜日は、
こどもといっしょに
料理をする日。



環境のことも考えて、
国産を選んでいきます。



休日は家族みんなで、
ファーマーズマーケットで
買い物。



ごはんの時は、
「いただきます」と
言ってから食べるよ！



近所のJAが開く
料理教室に
通っています。

家族で食卓を
かこめば、会話がはずむし
ごはんもおいしい！



よい食とは、おいしい食のこと。よい食とは、楽しい食であること。
よい食とは、家族の健康を支えるもの。よい食とは、よい暮らしそのもの。

あなたも、自分に「よい食」、家族に「よい食」、
そして日本の未来に「よい食」をしませんか？

みんなのよい食プロジェクトとは、
体と心を支える食の大切さ、国産・地元産農畜産物の豊かさ、
それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産農畜産物と
日本農業のファンになっていただくという運動です。



えみ
美味ちゃん
©みんなのよい食プロジェクト

「日本を、もっと食べよう。」みんなのよい食プロジェクト



JAグループさいたま



JA埼玉県中央会
JA全農さいたま

JAバンク埼玉県信連
JA共済連埼玉

©みんなのよい食プロジェクト